

議会だより

伊那市議会事務局

TEL 0265-968149
FAX 0265-769117
E-mail: gk@inacity.jp

Vol.12



社会委員会 生活と健康と生きがい

社会委員会では、8月9日に市内の高齢者福祉施設の現地視察を行いました。また、秋に開催された各種健康イベントに参加してきましたのでご報告します。

委員長 竹中則子 副委員長 唐澤稔
委員 若林徹男 前澤啓子 前田久子 伊藤泰雄 二瓶裕史

高齢者社会福祉施設を 訪問しました

○特別養護老人ホーム みすず寮

伊那市営の施設として運営していましたが、平成19年4月に上伊那福祉協会に経営移管し、平成25年3月に施設が新しく生まれ変わりました。

定員は、長期入所76名、短期入所4名。2階建ての全室個室（ユニット型特養）、オール電化、個浴、特浴、静養室など完備。ユニット



みすず寮を視察する社会委員

に10名の定員で、室名も十二支の名称を付けることで覚えやすく工夫されています。

低所得の入居者の受入れがニーズに対応できるのか少し心配ですが、設備も新しくなり、入所者は住みやすく、暮らしも楽しめる環境となっていました。

○介護施設

「なないろの家（東春近）」

平成24年4月に新しく開設した介護施設で、認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護の2つのサービスが提供されています。



レクリエーションを楽しむ「なないろの家」施設利用者

認知症高齢者グループホームは18床（全室個室ユニット）で、ユニット9名と少人数のため家庭的な印象を受けました。

また、小規模多機能型居宅介護は登録定員25名、通所定員15名、宿泊定員9名で、通所サービスを中

心にして自宅への訪問や宿泊を組み合わせることで、自宅で生活を続けられるよう支援しています。

家庭的雰囲気の中で、和気あいあい、地域のボランティアの方たちにも支えられています。

以上2施設を訪問し、施設利用者からのお話を聞くこともできました。今後さらに高齢者人口が増加することで、要介護者も増加することが懸念されます。介護施設整備の必要性を感じる一方、介護予防に重点を置いた福祉施策の取り組みが重要です。今後も委員会として高齢者が健康で安心して暮らせる環境づくりを目指します。

健康イベントに参加

○第30回健康まつり

10月6日、伊那市保健センターにて開催され、生活習慣病予防をテーマに各エリアが設けられ、食品エリアでは食品中に含まれる塩分量がわかる試食コーナーや食事相談が、検査・健診相談エリアでは血糖検査、血圧測定などが行われ、健診相談エリアでは歯科健診などが、また体と脳の運動エリアでは脳年齢チェックができるなど、訪れた方々は楽しそうに健康づくりについて学んでいました。

○第7回ふれあい広場

9月1日、伊那市福祉まちづくりセンターにて開催されました。出店や各種体験コーナーなどがあり、2000人規模の参加者で賑わっていました。

このように市民が一同に参加できるイベントを通じて、気軽に各種健診、また体験や健康相談が行えることは、現在の健康指向に合った大切なイベントであることを感じました。

社会委員会の今後の予定

市内保育園を訪問し、園児の生活を視察するとともに、保育士との懇談を予定しています。

議員全員による勉強会を開催しました

公職選挙法に係る勉強会を開催しました。議員は、祭事・慶事等の場合に寸志、差し入れ、お祝いなどの寄付をすることや、年賀状など時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことが禁止されていることを確認しました。